

平成 18 年（2006 年）第 3 回市議会定例会本会議（10 月 17 日）

決算特別委員長報告（議案）

ただいま議題となりました議案第 107 号から第 117 号までの以上 11 件につきまして、決算特別委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、去る 9 月 28 日に設置されて以来、延べ 7 日間にわたって会議を開き、収入役職務代理者から決算調製説明、並びに監査委員から審査意見、さらに所管部門ごとに詳細な説明を聴取して、質疑を行い、審査しました。

主な質疑を申し上げますと、

議案第 107 号 平成 17 年度横須賀市一般会計歳入歳出決算は、指定管理者に対する監査実施の可能性及びその内容、出張旅費計算等業務委託の評価、コールセンターの実績及び職員による対応の可能性、滞納者に対する調査の必要性、大津行政センター整備の進捗状況、成年後見制度利用件数と市民周知、家庭保育受託児童数の推移、放射能測定調査にかかる経費及び測定データの管理等、コーディネーター派遣事業の内容及び効果、国へ特殊地下壕対策事業費の補助を求める必要性、クルーザーヨットの利用向上を図る必要性、長崎県グループホーム火災に伴う消防設備の強化及び火災予防指導、特別緑地保全地区及び風致地区におけるパトロール体制及び関係部との連携、

旧市立横須賀高等学校校舎等の維持管理経費、
学校評議員の職務上の立場、
緑地基金を活用した緑地保全 についてであります。

議案第 108 号 平成 17 年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入
歳出決算は、
国民健康保険基盤安定制度と調定額の分析 についてであります。

議案第 109 号 平成 17 年度横須賀市特別会計公園墓地事業費歳入
歳出決算は、
公園墓地建設事業費における用地買収面積 についてであります。

議案第 111 号 平成 17 年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出
決算は、
利用頻度の低い介護保険サービスの見直し についてであります。

議案第 112 号 平成 17 年度横須賀市特別会計母子寡婦福祉資金貸
付事業費歳入歳出決算は、
母子寡婦事業における違約金の内訳、
母子寡婦福祉資金貸付金の低収入率の理由及び対策 についてであ
ります。

議案第 114 号 平成 17 年度横須賀市水道事業会計決算は、
本市における工業用水道料金の他都市との差異、
鉛給水管布設替工事の進捗状況及び工事の優先順位 についてであ
ります。

議案第 115 号 平成 17 年度横須賀市下水道事業会計決算は、
収支バランスの均衡に配慮した下水道事業経営の推進 についてで
あります。

議案第 116 号 平成 17 年度横須賀市病院事業会計決算は、
医薬品共同購入の影響について、
経営健全化に向けた医療現場への要請 についてであります。

議案第 117 号 平成 17 年度横須賀市臨海土地造成事業会計決算は、土地売却が原価割れしている理由、久里浜地区の土地売却を別用途で進める必要性 についてであります。

次いで、討論において、井坂新哉委員から「議案第 107 号 一般会計決算は、安全保障や米軍基地、国民保護法、原子力空母の配備などに対する市長の基本的な政治姿勢、受益者負担の原則としてさまざまな市民活動に対して負担を押しつけること、福祉の増進という立場が弱いこと、議案第 108 号 国民健康保険費決算は、資格証の大量発行の問題、議案第 111 号介護保険費決算は、低所得者対策やサービス供給体制の不足、議案第 114 号水道事業会計決算は、米軍基地への水道料金の計算方法の問題などを主な理由として予算審議でも反対したものの具体的な執行結果である。予算編成は、前市長が行ったものだが、蒲谷市長はその政治姿勢や予算執行に当たったの考え方を踏襲しており、以上 4 件の決算議案の認定に反対する」旨の意見が、上地克明委員から「議案第 107 号 一般会計決算については、骨格予算を組むべきとして予算時に反対したものであるが、不用額をかなり残しており、財政状況を各部局がよく理解しているものとして、認定に賛成する」旨の意見があり、採決の結果、議案第 109 号、第 110 号、第 112 号、第 113 号及び第 115 号から第 117 号までの以上 7 件は全会一致で、議案第 107 号、第 108 号、第 111 号及び第 114 号の以上 4 件は賛成多数で、いずれも認定すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。